

はじめに

愛知県稲沢市は、濃尾平野の中央に位置し、母なる河木曾川が市域の西側を流れる肥沃な大地に恵まれた自然と歴史の豊かな都市です。

歴史を遡れば、神護景雲元年(767)に始まったといわれる天下の奇祭「はだか祭」は人々の絆を今日に至るまで深めてきました。豊富な歴史的遺構と人情味溢れる気質は、わがまちの誇りです。

尾張国分寺跡は、本市が奈良時代の昔、古代尾張国の中心地を担っていた証でもあります。国分寺は、天平 13 年(741)聖武天皇の詔により、政治や社会の不安を鎮めるため全国 60 余か所に建てられ、尾張国分寺はその一つであります。昭和 36 年から始まった発掘調査は、本年で第 17 次を数えます。その間、金堂、塔、講堂、回廊などを確認し、平成 24 年 1 月 24 日には、念願でありました国の史跡指定を受けることができました。

ここに『尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想』を皆様にお示しさせていただきます。基本構想では、歴史を大切にしながら、稲沢市にふさわしい史跡公園とは何か、遺跡の保存を第一に、夢を語らせていただきました。

本市は、豊富な文化財とともに植木・苗木産業も誇りの一つです。嘉暦 3 年(1328)柏庵和尚が中国から持ち帰った柑橘類の接木技術をもとに、今や植木の日本 4 大産地といわれるまでに発展してきました。尾張国分寺跡の周辺はまさしくこの植木産業の中心地となっています。そこで基本構想において、植木を最大限に利用しながら文化財とのコラボレーション、ネットワークづくりを進め、この地が本市の観光の核となるべく、夢のある構想となっております。また、文化の拠点として(仮称)尾張国歴史館、そして産業・観光の拠点として(仮称)ふれあい広場といった提案もさせていただいております。

地元の皆様にご理解とご協力をいただきながら進めております発掘調査もまだまだ道半ばです。この構想を現実のものとするため、私どもも全力を傾注してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、この基本構想策定にあたりまして、貴重なご意見・ご提言をいただきました市民、関係団体、稲沢市尾張国分寺跡史跡保存整備委員会の皆様を始め、ご協力いただきました関係各位にお礼申し上げます。

平成 26 年 3 月

稲沢市長 大野 紀 明

目 次

第1章 基本構想策定にあたって	
第1節 構想策定の趣旨	1
第2節 構想策定に係る経緯	2
第2章 尾張国分寺跡をとりまく環境	
第1節 史跡指定地及び周辺の状況	7
第2節 上位・関連計画	14
第3章 尾張国分寺跡の概要	
第1節 史跡指定地の現状	15
第2節 尾張国分寺に関する調査研究	20
第3節 尾張国分寺跡を構成する要素	28
第4章 問題と課題の整理	
第1節 関連法規制	29
第2節 問題と課題の整理	30
第5章 事業の方向性及び目標の設定	
第1節 基本理念	31
第2節 基本方針	32
第3節 全体整備構想	33
第4節 ゾーン別整備構想	37
第5節 ネットワーク整備構想	42
第6節 (仮称)尾張国歴史館の整備	47
第7節 (仮称)ふれあい広場の整備	48
第6章 維持管理・運営・活用計画	
第1節 維持管理	49
第2節 運営・活用計画	49
第7章 事業化にあたって	
第1節 事業課題	52
第2節 整備スケジュール	53
資料編	